



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況》

	MLP		米国株		米国REIT		米10年国債 利回り	WTI 原油先物 (ドル/バレル)	ヘンリーハブ 天然ガス先物 (ドル/百万 BTU)
	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り	トータル リターン指数	予想配当 利回り			
2020年12月31日	812.30	11.11%	7,759.35	1.53%	20,258.86	3.36%	0.91%	48.52	2.54
2021年10月29日	1,188.73	7.43%	9,625.02	1.32%	26,384.62	2.68%	1.55%	83.57	5.43
2021年11月30日	1,099.46	8.27%	9,558.33	1.46%	26,117.18	2.74%	1.44%	66.18	4.57
前月比	-7.5%	0.84%	-0.7%	0.14%	-1.0%	0.06%	-0.11%	-20.8%	-15.8%
年初来	35.4%	-2.84%	23.2%	-0.07%	28.9%	-0.62%	0.53%	36.4%	79.9%
前年比	38.8%	-3.04%	27.9%	-0.15%	32.1%	-0.69%	0.61%	46.0%	58.5%

(出所)ブルームバーグ

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

《先月の米国MLP市場の動き》

11月のアレリアンMLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)指数は、下落しました。

上旬は、注目された主要産油国による会合で市場の想定通りに抑えめの増産ペースの維持が決定され、原油市場への影響が限定的だったことなどから、MLP市場は概ね一進一退の展開となりました。

中旬は、米政府がガソリン高対策として原油の戦略備蓄の放出に向けて動き、原油価格が下落したことから、MLP市場は軟調となりました。

下旬は、南アフリカで新型コロナウイルスの新たな変異種が見つかり、世界経済やエネルギー需要への影響が懸念されたことなどから、MLP市場は下落しました。

《米国MLPトータルリターンおよび配当利回りの推移》

MLP・米国株・米国REITのトータルリターン指数

(2019年末=100)



(出所)ブルームバーグ (期間)2020年1月2日~2021年11月30日

※MLP: アレリアンMLP指数、米国株: S&P500指数、米国REIT: FTSE/NAREITオール・エクイティREIT指数、すべて配当込み

MLP・米国株・米国REITの配当利回りと長期金利



●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。



当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

《先月の米国MLP・中流エネルギー企業関連ニュース》

米国MLP・中流エネルギー企業の
2021年7-9月期の決算状況

- 11月は、多くの米国MLP・中流エネルギー企業が2021年7-9月期の決算を発表(右表参照)。多くのMLP・中流エネルギー企業の利益(調整後EBITDA)が、市場予想並みもしくは予想を上回る。
- (11月5日)主要産油国で構成される石油輸出機構(OPEC)プラスは、原油増産の見送りを決定。
- (11月17日)米国政府が日本や中国などの消費国に石油備蓄放出の検討を要請したと報じられる。

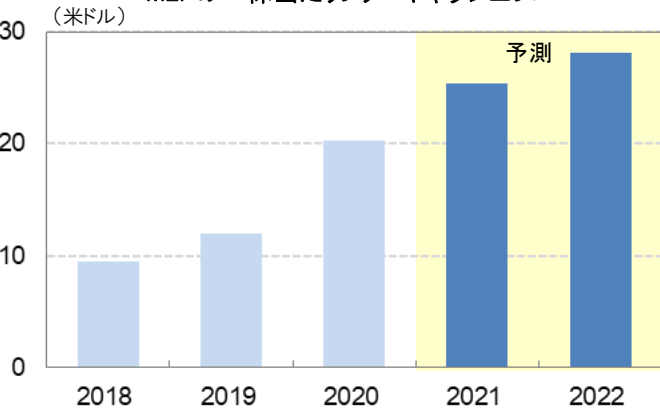
銘柄名	公表日	調整後 EBITDA (億米ドル)	前年比	市場予想 対比
Enable Midstream Partners LP	11月1日	2.7	+17.5%	↗
Williams社	11月1日	14.2	+12.1%	↗
Enterprise Products Partners LP	11月2日	20.2	-2.2%	概ね一致
MPLX LP	11月2日	13.9	+4.0%	↗
Magellan Midstream Partners LP	11月2日	3.6	+5.9%	↗
Plains All American Pipeline LP	11月2日	5.2	-23.9%	↗
DCP Midstream LP	11月2日	3.5	+6.6%	概ね一致
ONEOK社	11月2日	8.7	+15.8%	↗
Energy Transfer LP	11月3日	25.8	-10.0%	↘
Cheniere Energy Partners LP	11月4日	7.4	+109.7%	↗
Targa Resources社	11月4日	5.1	+20.7%	↗
Enbridge社*	11月5日	32.7	+9.1%	↗
Western Midstream Partners LP	11月9日	5.3	+2.6%	↗

(出所)各種報道等 ※2021年11月末時点 *Enbridge社の調整後EBITDAの単位は億カナダドル

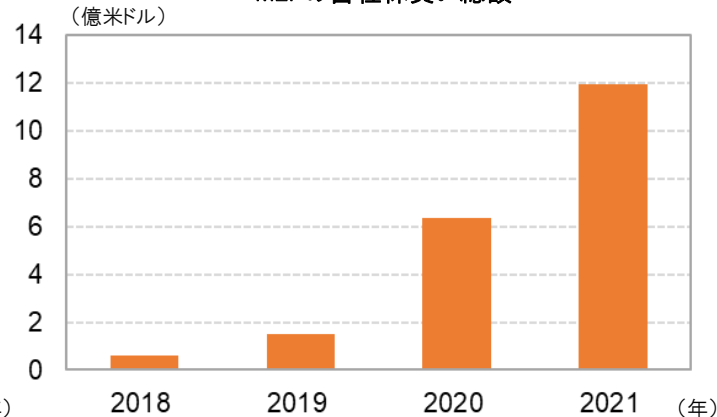
《MLPの財務状況と株主還元策》

- MLPのフリーキャッシュフローは、これまでの大規模投資が一巡したこと等から大幅に増加することが予想されています。
- 豊富なフリーキャッシュフローを活用して、米国MLPでは株主還元策として自社株買いが活発に行われています。2021年の自社株買いの総額は、7-9月期までに約12億米ドルと2020年を大きく上回る水準に達しています。自社株買いによる株主還元拡充への期待は、今後のMLP株価の上昇要因となると考えられます。

MLPの一株当たりフリーキャッシュフロー



MLPの自社株買い総額



(出所)ブルームバーグ (期間)2018年～2022年
※集計対象:アレリアンMLP指数採用銘柄
※予測は2021年12月2日時点の市場予想

(出所)ファクトセット (期間)2018年～2021年
※2021年は7-9月期まで ※集計対象:アレリアンMLP指数採用銘柄

●当資料は、説明資料としてフランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。●フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。